

令和3年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第6号(9月予報)

○向こう1か月の天候の見通し (令和3年8月19日発表：沖縄気象台)

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○8月の発生予報 (沖縄群島)

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		8月の発生量 (平年比)	9月からの増減	9月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
カンショ	① ナカジロシタバ	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
	② イモキバガ	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
（温州かんきつ）	① かいよう病	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移 (↗) 今後1か月の降水量が平年並か少ない見込み
	② ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移 (→) 今後1か月の降水量が平年並か少ない見込み
（タカシカキ）	① かいよう病	並	↗	並	平年の発生量の推移 (↗) 今後1か月の降水量が平年並か少ない見込み
	② アブラムシ類	やや多	↗	並	平年の発生量の推移 (↗)
	③ ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移 (↘)
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	やや少	↘	並	平年の発生量の推移 (↘) 今後1か月の降水量が平年並か少ない見込み
	② マンゴーハフクレタマバエ	やや多	↗	やや多	平年の発生量の推移 (↗)

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫 (沖縄群島)

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（温州かんきつ）	サビダニ類	一圃場の果実で多く発生していた。本類は果実と葉に寄生して、被害を及ぼす。梅雨明け以降に発生が多くなることから、薬剤防除を徹底する。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでは場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類	一部圃場でコシロモンドクガの多発生が見られた。施設内をよく見回り、早期発見・防除に努める。
ヘチマ	ワタヘリクロノメイガ (ウリノメイガ)	ワタヘリクロノメイガ (ウリノメイガ) の幼虫が上位葉に見られ、若齢幼虫は葉裏から葉肉を食害するので葉は白く膜状部を残すのみとなり、葉の上に糞が見られた。老齢幼虫は巻き葉内におり、殺虫剤が効きにくいので、若齢期の防除が望ましい。登録農薬を散布する。

令和3年度 宮古群島 病害虫発生予報 第6号(9月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和3年8月19日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○8月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		8月の発生量 (平年比)	9月からの増減	9月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	② ハダニ類	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

令和3年度 八重山群島 病害虫発生予報 第6号(9月予報)

○向こう1か月の天候の見通し（令和3年8月19日発表：沖縄気象台）

平均気温	降水量	日照時間
平年並か高い	平年並か少ない	平年並か多い

○8月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		8月の発生量 (平年比)	9月からの増減	9月の発生量 (平年比)	その他、気象要因等あれば記載
水稲	① スクミリングカイ	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
マンゴー	① チャノキイロアザミウマ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	② マンゴーハフクレタマバエ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③ ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
オクラ	① フタテンミドリヒメヨコバイ	やや多	→	やや多	平年の発生量の推移（→）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるのでほ場外へ持ち出し処分する。

向こう1か月の天候の見通し
 沖縄地方（8月21日～9月20日）

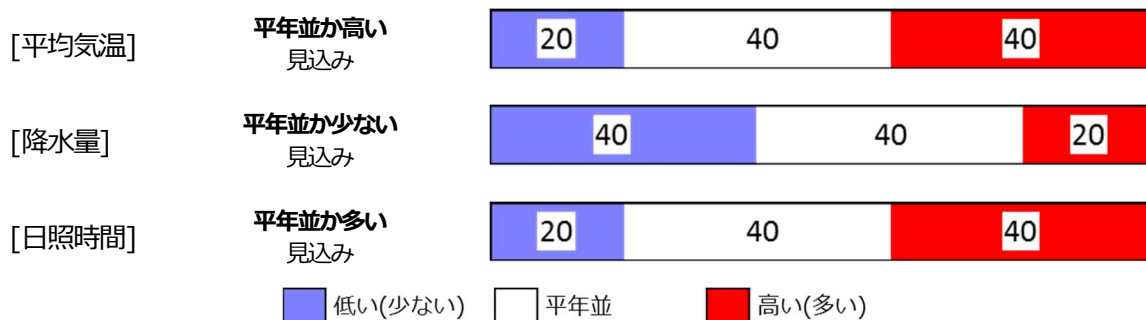
○ 気象予報のポイント

- 向こう1か月の天候は、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- 太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。



気象庁マスコットキャラクター
はれるん

○ 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

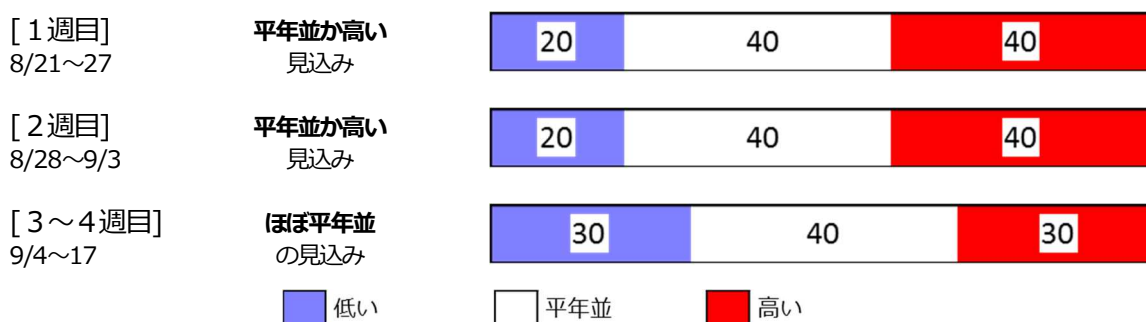


数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	平年差：-0.1～+0.2℃	平年比：78～118%	平年比：95～107%
那覇	28.4～28.7℃	133.9～270.8mm	164.8～195.0時間

○ 週別の平均気温



数値は予想される出現確率（%）です。

<平年並の範囲>

	平均気温（1週間）	平均気温（2週間）	平均気温（3～4週間）
沖縄地方	平年差：-0.1～+0.2℃	平年差：-0.2～+0.2℃	平年差：-0.1～+0.3℃
那覇	28.7～29.1℃	28.4～28.9℃	28.0～28.5℃

※ 沖縄地方の平年差（比）は、那覇・名護・久米島・宮古島・石垣島・西表島・与那国島の7地点平均値です。
 ※ 平年並の範囲は、過去30年間（1991～2020年）の値から統計的に求めています。